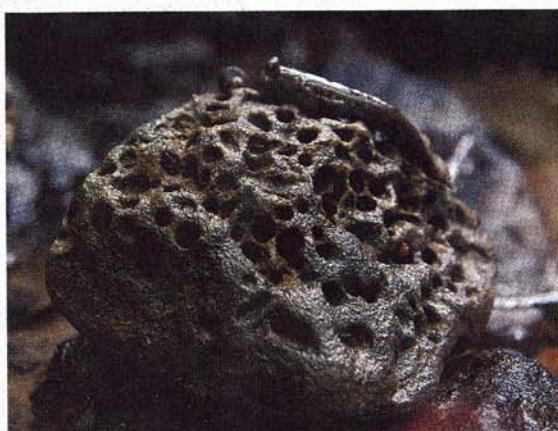


イワホリコツブムシ



ハチの巣のような穴が開けられたイワホリコツブムシの巣の塊（水槽番号401）



水槽に張り付けられたイワホリコツブムシとナナツバコツブムシの標本

1年ほど前「虫が侵食・消え
る無人島」というニュースがあ
つたことを覚えておられるだろ
うか。瀬戸内海のホボロ島が、
ナナツバコツブムシという動物
によって穴だらけにされて、こ
の数十年ですっかり小さくなっ
てしまつたという話である。

コツブムシの仲間はダンゴム
シの親類で、甲殻類の中の等脚
類として分類されるが、わずか
1センチほどの小さな生物が起こし
た大きな作用として、驚きをも
つて報道されたようだ。

島を浸食する虫

このように岩
を穴だらけにす
るコツブムシ
は、田辺湾にも
生息していく、

このを、富山市科学博物館長の布
村昇さんが1994年に新種と
して命名、発表したものだ。ご
両人とも京都大学瀬戸臨海実験
所に大学院生として在籍された

白浜水族館でも展示されてい
る。「干潟の水槽」で穴だらけ
になった砂岩がコツブムシの巣
の塊である。来館者に見てもら
えるように、岩から取り出した
標本も併せて展示している。ナ
ナツバコツブムシとイワホリコ
ツブムシの2種類である。

イワホリコツブムシは、奈良
女子大学の和田恵次教授が田辺
市新庄町の内の浦で発見したも

ことがある。
和田さんの研究室では、この
2種類の田辺湾における分布
や、イワホリコツブムシの繁殖
上の特徴などについて、詳細な
研究が行われている。

イワホリコツブムシはナナツ
バコツブムシよりも内湾の奥の
方まで分布し、干潟に注ぎ込む
川の河口にまで生息している。
このことは、イワホ
リコツブムシが低い
塩分濃度に耐えられ
ることが関係してい

る。両種とも砂岩や泥岩などの
軟らかい岩に穴を掘るだけな
く、水中の木材などにも穴を掘
つて生活している。

また、イワホリコツブムシは、
寿命が1年半から2年くらいで
あり、穴の中で、雄と雌が同居
したり、雌が子どもと同居したり
することなどが分かつてい
る。

瀬戸内海の無人島のことで大
騒ぎをする前から、田辺湾では
よく調べられていたのである。

(京都大学助教)

水族館へ行こう！

京都大学白浜水族館

53

大和茂之